

検討に当たっての主な論点(案)

1. 規制のあり方と目指すべき方向性

我が国における器具・容器包装に係る規制として、安全性の向上及び国際整合の観点から、ポジティブリスト制度の導入を含めた規制のあり方と目指すべき方向性についてどのように考えるか。

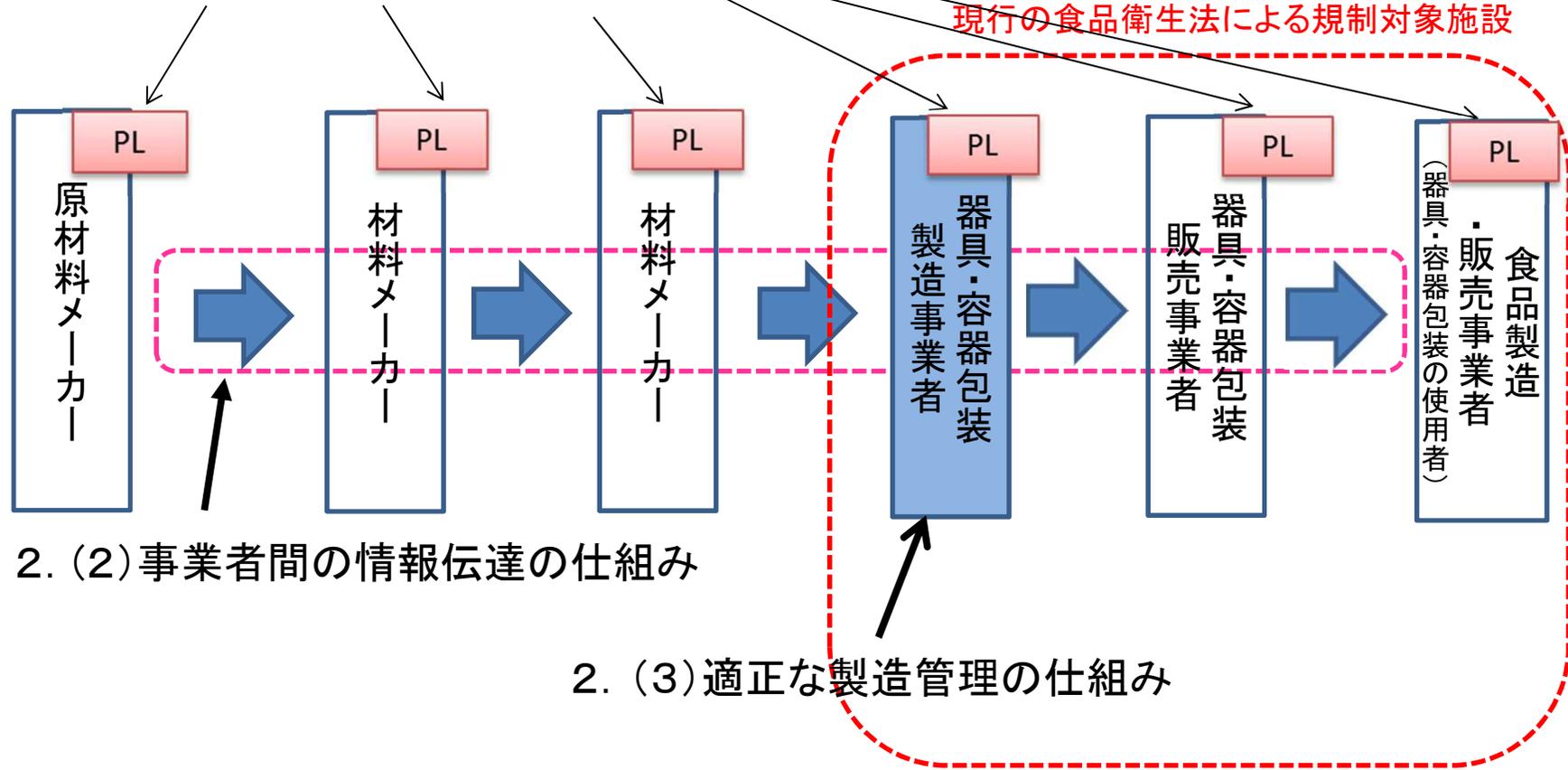
2. ポジティブリスト制度を導入する場合の課題と対応

- (1) 当該制度が適用される器具・容器包装の材質(合成樹脂、金属、紙、陶磁器等)や、物質の種類(添加剤、モノマー、触媒等)、リスク管理の手法等について、どのように考えるか。
- (2) ポジティブリストに適合した原材料や製品であることを担保するためには、事業者間における情報伝達が必要となるが、その具体的な仕組みについて、どのように考えるか。
- (3) ポジティブリスト制度を機能させるとともに、事業者による安全性確保の取組をより向上させるためには、原材料の管理や記録の作成保存を含めた、適正な製造管理を担保するための仕組みが必要となるが、その具体的な仕組みについてどのように考えるか。
- (4) 上記を踏まえた地方自治体の監視指導のあり方について、事業者の把握手段を含めてどのように考えるか。
- (5) その他

(参考) 器具・容器包装の流れと論点のイメージ図

- 1. 規制のあり方と目指すべき方向性
- 2. (1) 適用する器具・容器包装の材質等

- 2. (4) 事業者監視指導



- 2. (2) 事業者間の情報伝達の仕組み

- 2. (3) 適正な製造管理の仕組み